

海外安全対策情報（平成29年度第2四半期：コロンビア）

1 社会・治安情勢

(1) FARCの武装解除及び新党設立をめぐる動向

8月15日、FARC集住地域に保管されていたFARCから回収された武器の最後の容器の搬出完了式典が行われ、FARC集住地域が終了した。

8月27日から9月1日、ボゴタ市内でFARCによる新党設立のための全国集会が開催され、FARC関係者等約1,200名が参加した。政党名について、これまでのFARCの頭文字を残す「人民革命代替勢力党（Fuerza Alternativa Revolucionaria del Común）」が採用された。

(2) FARC離反兵の動向

7月までに、国内東部を中心として、以下の5つのFARC離反兵による組織が治安機関によって確認されたと報道された。

ア 第1戦線 構成員約130人：グアビアレ県

イ 第7戦線 構成員約27人：グアビアレ県サン・ホセ・デ・グアビアレ市等

ウ 第16戦線 構成員約25人：グアイニア県

エ 離反兵56人で構成されるグループ：グアイニア県

オ 第62戦線 構成員56人：カケタ県サン・ビセンテ・デ・カグアン市

8月19日、検察庁はFARC離反兵に関する報告書を発表し、全国32県のうち14県でFARC離反兵が確認されている上、活動しているとされる48市のうち25市で殺人件数が増加しており、特にエクアドル国境のナリーニョ県の太平洋岸沿いにあるトゥマコ市では、状況は深刻と指摘した。

(3) ELNの動向及び政府との和平交渉を巡る動向

7月上旬、アラウカ県、ノルテ・デ・サントアンデール県、セサル県等において、ELNによるとみられる治安機関への攻撃や道路封鎖等が発生した。ELNは否定しているものの、ELNの創立記念日（7月4日）に合わせ活動を活発化させたとみられている。

9月4日、エクアドルのキトにおいて、レストレポ・コロンビア政府側和平交渉団長及び「パブロ・ベルトラン」ELN側和平交渉団長は、102日間の相互一時停戦（10月1日～明年1月12日）に合意した。レストレポ団長によると、ELN側は停戦期間中にコロンビア人及び外国人の誘拐、インフラ設備への攻撃、未成年者のリクルート及び対人地雷の設置について一時中止する旨約束した。治安当局によれば、今年だけでもELNは12人を誘拐し、うち4名は未だにELNの監視下にあるとされる。

あるシンクタンクのレポートによると、和平交渉が開始されて以降、ELNと

の緊張が改善（E L Nによる攻撃が対前年比28.8%，治安機関との衝突が同42.8%減少）され，紛争に伴う死亡者数が減少（E L Nの死者数が対前年比68.6%，治安機関の死者数が60.7%減少）した。元来E L Nは国内全ての活動能力は有さなかったが，同期間中は，同ゲリラが歴史的にプレゼンスを有するアラウカ県，サンタンデール県北部，カウカ県等に活動が限定された。

（4）ベネズエラ国境付近の状況

外務省は，不法滞在状態となっていたベネズエラ人約22,000人への特別滞在許可を発出，許可は8月3日に有効となった。本措置によって，正規滞在となったベネズエラ人は職を得ることも可能となった。

9月21日，ノルテ・デ・サンタンデール県ビジャ・デ・ロサリオ市長は，この1か月の間に，両国民が通過中の国境のシモン・ボリーバル橋（コロンビアのククタ市とベネズエラのサン・アントニオ・デル・タチラ市を結ぶ）における銃撃戦が11件発生，多数が負傷しており，国軍による厳重な警戒が必要と発言した。ククタ市警察は，これらの銃撃は，密売にかかる勢力争いに起因するとの見解を示した。同地域における短期間の治安の悪化は，右派系違法武装組織の解体後に生じた組織間抗争であり，恐喝や密売による違法収入の利権を巡る抗争との見方がなされている。

2 一般犯罪の傾向

（1）犯罪別発生件数

第2四半期（7月～9月）のコロンビア全国における罪種別犯罪発生件数は以下のとおり（出典：コロンビア国防省統計）。

・殺人	2,942件
・強窃盗（対人被害）	39,465件
・強窃盗（邸宅，商業施設被害）	9,555件
・強窃盗（乗物被害）	7,005件
・性犯罪	6,061件

（2）邦人の犯罪被害事案

- 7月14日夜間，中南米を徒歩で縦断中の短期渡航者が，カウカ県プエルトテハダ市においてテントで野宿中，突然，何者かに鈍器のようなもので襲われ，顔面を複雑骨折する重傷を負った。被害者はほとんど全ての所持品を残し，現場を離脱，一命を取りとめた。
- 8月23日夜間，短期渡航者が，ボゴタ市旧市街（トランスミレニオ，Universidades駅近郊）において，徒歩でホテルを探していたところ，突然，背後から若い男にナイフを首筋に突きつけられ，「マネー，マネー」と言われ脅迫された。被害者は，ズボンのポケットに入れていた現金を渡したが，更に前方から近寄ってきた別の男に背負っていたバックパックをはがしとられた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 発生件数（7月～9月）（出典：コロンビア国防省統計）

26件

(2) 発生事案

報道等によると、国内において、以下のテロ・爆弾事案が発生した。

- 7月3日、グアビアレ県カラマル市において、通行中の警察官の至近で爆弾が爆発し、警察官2人が負傷した。FARC離反兵の第1戦線によるとみられている。
- 7月4日、セサル県南部グロリア市において、警察署に設置された爆弾が爆発し、警察官2名が負傷したほか、同県県都のバジェドゥパール市の広場にELNの旗が設置されており、当局はELN設立53年を記念するものとの見方を示した。
- 7月5日、アラウカ県カラウカ市において、道路に仕掛けられた爆発物が国軍により解体された。当局はELNによるものとの見方を示した。
- 7月6日、アラウカ県フォルトゥル市において、警察官に向かってバイクの中から爆弾が投げつけられ、市民1人が負傷した。ELNによるものとみられている。
- 7月9日、グアビアレ県サン・ホセ・デ・グアビアレ市において、ゴミ箱に仕掛けられていた爆発物が爆発し、兵士2人と市民4人が負傷した。FARC離反兵の第1戦線によるものとみられている。
- 7月26日、ボヤカ県クブラ市及びアラウカ県サラベナ市においてELNにより、パイプラインが攻撃を受けた。
- 8月7日、コロンビア国連ミッションはカウカ県カロト市において、国連職員、FARC兵及び警察官による合同での爆発物撤去作業中に攻撃を受け、国連関係者1人が負傷したと発表した。
- 8月10日、アンティオキア県ベジョ市において、サッカー警備に向かう35人の警察官が乗車したバスに爆弾が投げつけられた。
- 8月20日、アンティオキア県及びグアビアレ県において、違法薬物栽培の伐採業務を警戒する警察官が相次いで襲撃を受けた。
- 9月20日、コルドバ県南部カナレテ市において、違法武装勢力の「クラン・デル・ゴルフオ」が設置したとみられる爆発物により警察官2人が死亡した。
- 9月21日、アラウカ県タメ市において、通行中の国軍兵士の付近で、ELNによるとみられる爆弾が爆発し兵士2名が重傷を負った。
- 9月22日、カケタ県においてFARC離反兵とみられる者が通行中のバスを停止させ、FARCのパンフレットを乗客に配った上、バスにFARC-EPと記載するなどした。

- 9月29日、ボゴタ市南部、南部高速道路とビジャビセンシオ通りの陸橋に、人民革命運動の旗が掲げられており、警察が同陸橋に設置されていた爆発物を発見、解体した。

4 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 発生件数（7月～9月）（出典：コロンビア国防省統計）

ア 誘拐	45件
イ 恐喝	314件

(2) 発生事案

主な誘拐事案は以下のとおり。武装集団による誘拐事件は、ノルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区で多く発生している。

- 7月22日、ノルテ・デ・サントアンデール県トレド市において、同市元市長が武装集団により誘拐された。
- 8月10日、ノルテ・デ・サントアンデール県コンベンシオン市において、農業経営者が、自身の農園に押し入った武装集団により誘拐された。
- 9月2日、昨年11月にELNにより誘拐されたアルメニア系ロシア人が本年4月赤十字国際委員会への引渡しのために移送中、逃走を試み、殺害されていたことが明らかになった。

5 日本企業の安全に関する諸問題

政府の継続した治安対策により、ボゴタ市を始めとする都市部では、テロ、殺人及び誘拐の発生は減少し、都市部での治安状況は過去と比べ著しく改善された。しかし、本年1月以降もボゴタ市内で爆弾テロが複数件発生、特に6月17日発生の「セントロ・アンディノ」における爆弾事件は一般市民が巻き込まれており、警戒を怠ることはできない状況。

また、未だ山間部やジャングル地帯を中心に治安機関及び石油・電力施設を狙ったテロが頻発している。これら地域は、国軍・警察の影響力が低いため、人的・物的被害が絶えない。また、ベネズエラ国境付近はゲリラ組織や犯罪組織が活発に活動し、これら勢力争いに伴う銃撃戦も発生している。

FARCの武装解除及び新党設立等が進められているが、一部和平方針に従わない離反兵の活動も認められているほか、今後の元兵士の社会復帰の成否如何によっては治安へ悪影響も懸念される。

政府と正式な和平交渉を行っているELNは10月1日からの相互一時停戦に合意した者ものの、今後の和平交渉の進展次第では、テロ・誘拐を敢行する可能性は否定できない。

従って、特に地方への訪問については、その可否を決定する上でも、外務省、大使館、現地治安当局より最新の治安情報を入手するよう努めていただきたい。